



PUBLIC MAGAZINE

パブリック マガジン

第432号

発行 上士幌町農業協同組合

編集 営農振興部営農振興課

印刷所 上士幌印刷

かみいはる



目次

P 1～6 …年頭のご挨拶
P 7 ……謹んで新年のお慶びを申し上げます
P 8 ……農協法公布記念日にあたって
P 9 ……J A 青年部子ども農業体験（酪農）
P 10 ……第47回 J A 青年部十勝大会盛大に開催される
第71回 J A 青年部全道大会開催 家の光
P 11 ……J A 女性部 J A 十勝地区女性協議会研修会
開催
令和4年度 J A 北海道女性リーダー研修会・
家の光大会
P 12 ……すずらん会12月例会 おいしいミルクレシピ

P 13 ……農林水産省との酪農に係る意見交換会開催
コンプライアンス研修実施 行事予定
P 14 ……理事会だより 知っておきたいマナー集
P 15～16 ……令和4年度巡回ドックの最終案内
P 17 ……農畜産物消費拡大運動道の駅販売イベント
法被姿で防火宣言
P 18 ……酪農情報
P 19 ……秋の収穫作業風景
P 20 ……J A グループ通信
P 21 ……年末年始の業務体制

年頭のご挨拶



代表理事組合長

小 椋 茂 敏

令和五年の新春を迎え、組合員並びにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は本組合の事業運営に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、役員を代表して厚く御礼申し上げますとともに、迎えられました新しい年も変わらぬご厚誼を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

昨今の農業を取り巻く情勢は、長期化したコロナ禍の影響が依然として色濃く残り農

畜産物の消費低迷は未だ解消されない状況となっております。

また、ロシアによるウクライナへの侵攻や急速な円安の進行などにより、飼料・肥料・燃油をはじめとする生産資材等の異常な価格高騰が重なり、農業経営へ甚大な影響を及ぼしています。中でも酪農情勢については、昨年から継続して生乳の生産抑制が強いられ、おり経営継続自体が危惧される状況にあります。また、本年については肥料高騰の影響を全面的に受けることによ

て畑作経営に対してもその影響が顕著に表れることが予想されます。これらの諸問題は、一農業者や一農業団体だけでは決して解決することができません。JAグループが一丸となり今まで築き上げてきた生産基盤を損なうことがないよう配慮しつつ、この問題に対処して行かなければなりません。今こそJAグループが結集し、この深刻な問題に対応していく必要があります。

さて、昨年の本町農業を顧みてみますと、春耕期は好天に恵まれ春作業は順調に経過致しましたが、四月下旬の強風により一部のてん菜圃場では風害が発生しました。五月から六月にかけては低温と降雨が続き、七月には一部の圃場で降雪による被害が発生したところであります。八月は平年比約二倍となる降水を記録したほか寡照傾向が影響し、馬鈴薯では小玉傾向となり、軟腐病の発生も見られました

が、収穫期には比較的好天が続き収穫作業はことのほか順調に進みました。昨年は、自然災害による作物への甚大な被害はありませんでしたが、これらの気象状況が相まって作物全般に平年作を下回る結果となりました。

生乳生産においては、これまでの増産体制から一転し、過剰在庫への対応として生産者自らが生産抑制しなければならぬという不条理な対応が求められています。組合員の皆様のご協力により目標乳量内に収まる見込みとなっています。特に昨年から生産抑制については深刻な状況であり、組合員の皆様にとつて死活問題となる中であつても努力を惜しまず日々の営農に勤しむその姿には深甚なる敬意を表するところでありま

す。コロナ禍を経て農業を取り巻く情勢は大きく変化しました。近年刻々と変化する社会経済情勢に迅速に適応し、組

合員の声に耳を傾け、組合員経済の維持発展とJAの経営基盤強化に取り組み、先人が築き上げた上士幌町の農業を魅力あるものとして次代に継承できるよう取り組むのが我々に課せられた使命であります。先の見えない情勢が続いておりませんが、明けない夜がないように必ず明るい兆しは見えてきます。このような厳しい状況だからこそ「協同」の力をもってこの激動の時代を乗り越えて行かなければなりません。そのためには組合員並びにご家族の皆様のご理解とご協力をなくして成し遂げることができません。今後とも協同組合に結集頂きますよう衷心よりお願い申し上げます。

結びに、組合員の皆様並びにご家族の皆様が健康で、穏やかに営農と生活を営めますよう切に念願し、合わせて豊穡の出来秋となることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年の 年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長

小野寺 俊幸

新年あけましておめでとう
ございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が「一丸」となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

昨年の本道農業につきまし

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、J Aグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となつていきます。

J Aグループ北海道は、日

本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第三十回J A北海道大会の実践二年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道五百五十万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、J Aグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はでき

るだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶



十勝農業改良普及センター
十勝北部支所

支所長 中村 浩

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝にて令和五年の新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当センターの普及活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の上士幌町における四月から十月までの気象経過を平年と比較しますと、平均気温は百八%、積算日照時間は百九%、積算降水量は百二十

四%となっています。また、前年の根雪始めは平年より十三日遅かったものの、最大積雪深は平年より六cm深く、最大土壌凍結深は平年より十cm浅くなりました。融雪期は平年より四日遅かったものの、四月上中旬の好天により、耕起始めは二日早く、てん菜のは種・移植、馬鈴薯の植え付け作業は順調に進みました。四月は高温と記録的な少雨となり、下旬には一部でんさいは場で風害が発生しました。

さて、この一年で農業を巡る情勢は大きく変化しました。肥料価格が高騰し、急速な円安などにより資材費も高騰しています。そのような状況の中、畜産部門ではさらに輸入飼料の高騰、生乳の生産抑制、仔牛価格の下落により経営が圧迫されており、畑作部門では直接支払交付金（ゲタ対策）の見直しやてんさい向け交付金の対象数量の見直しといっ

五月上旬、下旬には低温や降雨が続いた時期があったものの、サイレージ用とうもろこしや豆類のは種作業は平年並みに終了しました。六月から八月にかけて全般に日照時間が少なく、降水量が多く推移し、七月には降雪による被害がありました。九月は降水量が少なかつたため、馬鈴薯や豆類の収穫は順調に進みました。

生育期間の日照不足、多雨の影響が大きく、畑作物全体を通して平年を下回る収量となりました。

た農政の転換期を迎えています。厳しい話題ばかりで、今すぐに有効な対策は見いだせないかもしれませんが、農業者と関係機関が丸となって、知恵を出し合っていかなければなりません。輪作体系を維持しながら、経営費を少しでも減らすような工夫が必要とされます。肥料高騰への対策として、堆肥やバイオガスパラントから生じる消化液等家畜糞尿の有効活用、土壌診断を活用しリン酸・加里・苦土などが蓄積しているほ場では化学肥料を節減すること、緑肥等有機物の投入によるほ場の地力の強化などが考えられます。効果の大きい対策は少ないかもしれませんが、一つ一つの積み重ねが必要だと思います。

また、飼料高騰への対策としては、飼料分析に基づいた無駄のない飼料給与のほか、継続して良質な自給飼料の確保に向けた取り組みが必要です。

す。草地更新、植生改善により良質な自給飼料の向上に、着実に取り組んでいくことが必要だと思います。

当センターでは令和三年度より、新たな重点的に取り組む地域課題として、幸福地域（六戸）を対象に「安定生産を実現する効率的な農業の構築」に取り組んでおり、二年を経過するところです。主に馬鈴薯「きたひめ」の栽培技術の改善を目指しており、少しずつ実態把握が進められ、成果が見え始めているところです。今後とも関係機関の皆様と連携して、普及事業の基本テーマである「地域の目となり耳となる普及」「農業者のそばに立つ普及」「地域の知恵袋となる普及」を念頭に、邁進していく所存であります。

結びに、皆様方とご家族が健康で稔り多き一年であることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



ホクレン清水製糖工場
北部原料所

所長 久保田 俊

新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま
してはつつがなく新しい年を
お迎えのこととお慶び申し上
げます。また、日頃よりホク
レン清水製糖工場及び北部原
料所の活動に對しまして、ご
理解とご協力を賜っておりま
すことに心より感謝申し上げ
ます。

さて、昨年のでん菜の春作
業は直播播種・移植定植とも
に最盛期が平年より早く実施

されましたが、四月下旬の暴
風の影響により定植した苗が
枯死する被害が発生し、多く
の方で再移植や大規模な補植
作業などでご苦労されたこと
かと思われま。

その後、五月中旬までは早
魘傾向でしたが、以降は一転
して八月中旬まで断続的な降
雨があり平年を大きく上回る
雨量となりました。高温多湿
により六月下旬には黒根病の
初発が確認され、その後も病

害が拡大しました。また、
生産者の皆様には適期防除と
なるよう努めていただきまし
たが八月以降は褐斑病の発生
も急拡大しました。昨年は降
雨による圃場軟弱化により防
除自体が難しく、また、防除
タイミングも大変苦慮する年
となりました。

数回にわたる掘取調査の結
果では根重・糖分は平年並み
でしたが腐敗株が多くみられ、
平年を下回る操業計画といた
しました。結果的には、収量・

糖分ともにほぼ計画通りとな
り、平年を一割以上下回る糖
収量となりました。製糖工場
として生産者から供給してい
ただいた貴重な原料でん菜を
一つも無駄にすることなく砂
糖にすべく現在も操業が続け
られています。

話は変わりますが、近年の
原料でん菜輸送のドライバー
不足対策として、昨年より土
幌センターを開設いたしました

た。これにより土幌・上土幌
を合わせて三十台程度の車両
を削減することができたこと
に加え輸送効率も向上いたし
ました。道内他製糖工場では
車両不足によりでん菜の受入
開始日が年々早まっている傾
向にあります。清水工場は
土幌センターの開設により開
始日を極端に早まることを抑
えられ、適期の収穫により糖
分上昇に寄与したことで、全
道で最も高い糖分値となりま
した。

砂糖業界を取り巻く環境に
ついては新型コロナウィルス
の影響により外食産業やお土
産販売の不振による砂糖需要・

販売量低下に伴い在庫量が増
加しており、また、糖価調整
制度の収支が均衡せず制度破
綻の恐れも危惧されておりま
す。こうしたことから、農水

省から四年間で減反していく
新たなでん菜の作付指標面積
が示されました。また、本年

よりでん菜の交付金単価が大
幅に減少することも示されて
おり、でん菜作付けのあり方
が問われている状況にありま
す。製糖工場としては持続可
能な畑作経営のため必用不可
欠なでん菜について、生産者
皆様の安定生産・所得確保の
ためJA・関係機関と連携し
栽培技術指導などの営農支援
活動、適正な輪作体系の維持
をしていくための活動を行う
考えであります。些細なこと
でも原料でん菜に関すること
であればホクレン北部原料所
にご相談いただければ幸いです。

結びになりますが、皆様方
とご家族のご健勝とご多幸並
びに豊穰の秋を迎えられます
ことを心よりご祈念申し上げ、
新年の挨拶とさせていただきます。

楽しい女性部をめざして



J A 上士幌町女性部

部長 猪狩 美和

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては穏やかに新
年を迎えられたことをお慶び申し上
げます。

日頃より女性部活動に対しまして
部員の皆様、ご家族の皆様、役職員
の皆様のご理解を頂き深くお礼申し
上げます。

昨年引き続き新型コロナウイルス
感染症の影響で行事の中止、延期
をせざるを得ない状態でした。

今年度は例年通りの花壇、そして
バルーンフェスティバルに参加・協
力することが出来ました。牛乳とて
んさい糖を使用してのラッシーの無
料提供、又、酪農課によるピザ販売
のお手伝いもさせていただきました。
二月には日帰り研修会を予定して

おります。無事に開催出来ることを
願うばかりです。

来年度には女性部設立七十年を迎
えます。今まで先輩方が大切に守っ
てきた女性部を、次の世代へ受け渡
して行きたいと思っております。

年々部員の減少が続く中で、私た
ち役員一同楽しい女性部を目指し企
画しております。是非とも一人でも
多くの皆様に参加頂き、一緒に活動
して行きたいと思っております。

最後になりましたが、今年も皆様
にとって最良の年となることを願い
新年の挨拶と致します。



ホクレンスタンド前花壇



女性部花壇づくり



すずらん会 いもころがし大会



バルーンフェスティバル ラッシー配布

地域に根差した 青年部活動を



J A 上士幌町青年部

部長 小林 悠樹

新年明けましておめでとうございます。
日頃より皆様方には青年部活動に対しご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年の上士幌町は四月下旬の強風による風害、六月から八月にかけては全般に日照時間が少なく降水量が多く推移し、七月には降雹による被害もありました。このように気象状況が不安定で生育期間の日照不足や多雨の影響から結果として作物全般に平年を下回る収量となりました。

社会情勢へ目を向けますと、コロナ禍が長期化したことで依然として各農畜産物の消費が低迷しており、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料など生産資材の価格高騰から農業経営に与える影響は計り知れません。この大きな問題を乗り越えていくためには、J A グループの一員として各青年部も力を結集し対応していく必要があります。

我々青年部は昨年に引き続き定期総会

が書面決議となり活動が制限される状況ではありましたが、今と未来の農業のために自分たちが出来る活動に尽力して参りました。

食育事業では上士幌小学校三年生を対象に農業体験を実施しました。八月の芋掘り体験では汗をかきながら必死に土の中から芋を探している姿や、農業機械の間近で見て仕組みや迫力に興奮している様子を見て今年も無事開催できて良かったと心から思うことができました。十月には酪農体験を実施し、搾乳や子牛との触れ合い、ロボット牛舎見学、トラクター試乗を体験し、搾乳してから牛乳ができるまでの流れを学ぶだけでなく普段の酪農家の仕事を見せることで少しでも酪農という職業に興味を持つてもらえたと思います。

毎年実施している町内給食センターへの馬鈴薯寄贈は丹精込めて育てた馬鈴薯を子ども達に味わっていただくために今年も実施し、馬鈴薯約百キロを無事寄贈

しました。また上士幌町内の一人で食事をする子どもや食事の提供を必要としている方たちへ食事やフリースペースとしてその場を提供し、地域みんなの居場所となることを目指して活動している「かみしほろ地域食堂うれしか」へお弁当のメニューで使用するじゃがいもを寄贈させていただきました。町内の子どもたちが生きる力を身に付け地域について学び郷土愛を育むことを目的に実施されている少年教育事業「かみっ子ふるさと体感塾」の活動にも賛同し、ピザ作り体験で使用するじゃがいもやチーズ、牛乳なども提供しました。これからも子ども達の笑顔のために安心安全な農産物を作り、さまざまな食育事業を通じて食と農の繋がりがや大切さを深く理解してもらえよう努めていきます。

現在も課題となっている後継者不足の対策としては昨年に続き道の駅を使用した交流会を企画することで農業後継者の確保に努めるとともに、上士幌町の魅力を発していく良い機会にもなりました。

青年部はコロナ禍や厳しい情勢の中でも自分たちに出来る活動を常に考え対策を講じながら、今後も部員全体で協力して上士幌町だけでなく十勝や北海道を盛り上げていきます。

結びとなりますが、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますと共に、新型コロナウイルスの一日も早い終息、そして本年も豊稔の秋を迎えられますことをご祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



畑作子ども農業体験



酪農子ども農業体験



J A 常勤との意見交換会



給食センター馬鈴薯寄贈

謹んで新年の
お慶びを申し上げます

農協年金友の会 会長

遠宮楠小藤鈴齊佐伊久小猪加職猪西松泉菅布高嶋泉高辺大小
山内 椋屋木藤藤藤田林狩藤員狩原岡田原谷木木田橋見道椋
公政淳信義雄喜顯 悠美照一敏正秀吉 知 勝和昭 欣茂
昇哉幸一幸尚司明郎俊樹和夫同勝行行徳彰宏茂美寛博仁実敏



農協法公布記念日に

あたつて



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊幸

昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で七十五年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じて、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のも

と、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済の環境変化にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の

高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの需要が急速に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥つてしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、今の所大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとつて大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国産国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切な

テーマであり、一九四五年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、更に一九八一年に国連が「世界食料デー」に定めた日である十月十六日を、「国産国産の日」として

制定し、令和三年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国産国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された五百五十万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となつて「アグリアクション」と致します。

「北海道」と題した統一した取組みをしつかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えることが、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたつてのメッセージと致します。



JA青年部

子ども農業体験

(酪農)

小学校3年生と
酪農体験を開催

ロボット牛舎見学



子牛とのふれあい体験



牛を用いた搾乳体験

十月二十八日、JA青年部酪農部会（石川大貴部会長）は上士幌小学校三年生を対象に子ども農業体験を開催した。今年度も子ども達を高木和也牧場（上音更）へ招いての酪農体験を実施し、当日は搾乳牛二頭を用いて搾乳体験を行った。子ども達は青年部員の指導のもと、最初は怯えながらであったが、次第に楽しそうに搾乳体験を行っている

姿が見られた。またロボット牛舎の見学や産まれて間もない子牛とのふれあい体験も実施すると、子どもたちは「あつたかい」「かわいい」などと大喜びであった。酪農体験終了後は牛舎内で酪農に関わる学習を行い、日々の業務内容や牛の体についてなど多くの質問が飛び交う充実した学習会となった。また給食の時間に高木和也牧場で製造して

いるアイスクリームを提供すると、子ども達は美味しそうに食べ大好評であった。石川酪農部会長は「子ども達がとても楽しそうな表情を浮かべながら体験してくれて良かった。この体験を通して、少しでも酪農に関心を持ち、酪農の面白さ、大変さを感じてもらえたら。」と話していた。



みんなで記念撮影



十勝地区農協青年部協議会
菅原 崇会長挨拶

大会では、五単組による活動実績発表大会、「スマート農業が可能にするSDGsと農業の関わり」と題した十勝農業試験場上席普及指導員馬淵富美子氏の講演会、30秒C



第47回 J A 十勝青年部大会 盛大に開催される

十一月二十五日、第四十七回 J A 青年部十勝大会が三年ぶりに実開催され、十

勝管内二十三単組から多くの盟友が参加した。

大会では、五単組による活動実績発表大会、「スマート農業が可能にするSDGsと農業の関わり」と題した十勝農業試験場上席普及指導員馬淵富美子氏の講演会、30秒C



青年組織綱領朗読

Mコンテスト、純農ボーイコンテストが行われた。30秒CMコンテストでは、各単組の個性豊かなCMに笑いや感動で会場が沸いた。J A 上士幌町青年部からも一作品応募したが、惜しくも入賞とはならなかった。コロナ禍の影響から懇親会が行われなかったが、大会へ参加した青年部員は他単組の活動を知るいい機会になり、有意義な時間となった。



大会の様子

札幌市パークホテルにて開催され、全道各地の青年部員が集まり当 J A 青年部からも五名の役員が出席した。初日は各単組の代表者による J A 青年の主張大会・活動実績発表大会が



第71回 J A 青年部 全道大会開催

十二月八日、九日にかけて第七十一回全道 J A 青年部大会が

札幌市パークホテルにて開催され、全道各地の青年部員が集まり当 J A 青年部からも五名の役員が出席した。

初日は各単組の代表者による J A 青年の主張大会・活動実績発表大会が



青年組織綱領朗読

行われ、活動実績発表大会については、十勝からも先日開催された十勝大会の代表者が壇上で堂々と発表していた。二日目は基調講演・本大会が式次第に沿って行われ、盛大のうちに閉会した。今後もし上士幌町農協青年部はこのような上部組織への積極的な参加を行っていく。

家の光

1月号の読みどころ

どつする、どつする、どつする。

コロナ時代の冠婚葬祭

冠婚葬祭やイベントの開催方法、進め方を大幅に変化した新型コロナウイルスの感染拡大。コロナ時代を越えて、これからの冠婚葬祭はどうあるべきか考えます。

ここに注目！2月号予告

夫婦のイライラ処世術

「家の光」読者アンケートによれば、七割近くの人々が夫婦げんかをしていると回答しています。理由は「ささいなこと」が多いようですが、だからこそなんとかならないものかとイライラが募るものです。そこで、多くの人から夫婦げんかにまつわるエピソードを聞きながら、イライラを受け入れる、受け流す方法を伝授します。

JA女性部

JA十勝地区女性協議会研修会開催

JA十勝地区女性協議会は十二月七日

～八日、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルでJA十勝地区女性協議会研修会を開催し、本町からは五名が参加した。

開会式終了後、研修を十勝SDGs実践委員会芳賀雅樹氏より「農業に求められるSDGs」私たちにできること」の講演が行われ、その後、SDGsかるたを実践し、大いに盛り上がった。

二日目は、帯広開発建設部治水専門官水野宏行氏から「気象変動の影響および適応策と洪水時の避難情報について」と、帯広側候所予報官小松将博氏から「最近の気象傾向」と題して講演が行われた。

防災情報の知識、ハザードマップを確認することの重要性や、最近の気象傾向が地球温暖化が原因の一つ

と考えられ、自分たちの命や生活を守るために考えることの大切さを知る研修会となった。



女性組織綱領朗読



SDGs かるた実践



研修会様子



JA道女性協70周年記念式典および

令和4年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会開催

十一月十日、札幌市ANAクラウンプラザホテルにてJA道女性協七十周年記念式典および令和四年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が開催された。

道内JA女性部長が参加し、家の光記事活動体験発表・家の光持ち寄り読書を行い、記念講演として「食品ロスの傾向と削減に向けた取組」、「食品ロスを減らす冷蔵庫収納術」を学び、審査結果発表並びに表彰の後閉会した。

今大会は農業やJAをめぐる諸情勢や動きを踏まえた新たな計画や決議等が策定された経過をもとにJA道女性部として関係機関の助言のもと、新たな基本方針の策定をはかるとともに全道の仲間と連携をはかり、今後の活動の活性化やJA運動に結集することを目的に開催された。JA北海道女性協議会はJA女性組織三ヶ年計画「JA女性想いをひとつに かなえよう」並びにJA道女性協の組織強化基本方針等に基づき活動している。



大会の様子

すずらん会

12月例会

いもころがし
大会開催!

J A 女性部すずらん会（菅原清枝会長）は12月2日に「いもころがし大会」を行った。

手や足を使って色々な形をした芋を転がし、高得点を狙うゲームで今回は15名が参加した。

3班に分かれて3種類の得点表を使い、班ごとに順番に回って行われた。高得点を狙ったつもりが隣のマイナス点に入ったり、大いに盛り上がった。

ゲーム終了後は景品が全員に当たった。その後に行われる予定だった忘年会は、新型コロナウイルス感染拡大を受け残念ながら中止となったが、3年ぶりのいもころがし大会に、寒さを忘れる楽しい一日となった。



いもころがし大会の様子



高得点をめざして



牛乳をもっと食卓に

おいしい
ミルクレシピ

基本のだしにお好きな具材でオリジナル雑煮に

新年を祝う牛乳雑煮

材料(2人分)

基本のだし	水	120ml
	かつお節(削り節)	5g
	牛乳	180ml
	西京みそ	大さじ2
	丸餅	4個
	ニンジン	1/5本
	ダイコン	2cm
	ホウレンソウ	30g
	ユズの皮	適宜

作り方

- ニンジン、ダイコンは花形に切り、だし(材料外)で下ゆでしておく。ホウレンソウはサッとゆでて5cmの長さに切る。丸餅はゆでておき、かつお節はお茶パックに入れておく。
- 鍋に分量の水でお湯を沸かし、①のかつお節を入れて濃いだしを取る。かつお節を取り出し、牛乳を入れて温めたら西京みそを加えて溶く。
- わんに①のゆでた餅、ニンジン、ダイコン、ホウレンソウを盛る。
- ③に②を注ぎ、丸く切ったユズの皮を添える。



農林水産省との酪農に係る意見交換会開催

十一月九日農協事務所三階会議室において、農林水産省畜産局牛乳乳製品課松本憲彦氏他三名を招き酪農に係る意見交換会を開催した。

開会にあたり、小椋組合長より挨拶をいただき、その後農林水産省松本氏の挨拶で開始した。

意見交換会には、酪農振興会役員をはじめ、上士幌町農協青年部・女性部役員、十勝地区青年部・女性部役員が参加し、酪農に関わる様々な意



小椋組合長挨拶



意見交換会の様子

農林水産省畜産局牛乳乳製品課
松本 憲彦氏挨拶

コンプライアンス研修実施



10月24日・27日、11月1日の3日間、J A 役職員を対象にコンプライアンス研修を開催し、J A 役員、J A 職員が参加した。

農協会議室にて「不祥事の発生状況と不祥事未然防止に向けて」、「個人情報保護と情報セキュリティ」と題し、J A 北海道中央会帯広支所主査久保哲也氏から講義を受け、不祥事の定義・発生の状況・発生時の組織対応について、コロナ禍により急速なデジタル化が進んだことにより、情報システムの停止による損失、ネットワークセキュリティの不備、顧客情報の漏洩のリスク、個人情報管理・情報セキュリティの強化について知り、広い意味でコンプライアンスとは何かを考え、取り組みを実践することの重要性を学び、コンプライアンス（法令遵守）について再確認する研修会となった。



研修の様子



行事予定

1月

2日 仕事始め

(スタンド)

4日 仕事始め(信用・

共済業務)

6日 仕事始め(事務所・

生産資材店舗)

10日 育成牛市場

10日 飼料定配

12日 乳牛市場

中旬 農業廃プラ

18日 和牛市場

20日 F1市場

25日 飼料定配

30日 育成牛市場

2月

2日 乳牛市場

13日 和牛市場

9日 飼料定配

15日 F1市場

中旬 農業廃プラ

21日 乳牛市場

24日 飼料定配

27日 育成牛市場

理事会だより

第9回理事会

令和4年10月25日

報告事項

1. 第2・四半期監査報告について
2. 内部監査報告について
3. コンプライアンス事故報告について
4. 営農貯金利率について
5. 令和4年度 J A 共済コンプライアンス点検結果について
6. 令和4年度馬鈴薯集荷状況について
7. 令和3年度食用・加工用馬鈴薯共同計算の精算結果報告について
8. 令和4年度産豆類集荷状況について
9. 令和4年度てん菜輸送計画について
10. 2022北海道ホルスタインナショナルショウ入賞結果について
11. 第32回北海道肉牛共進会入賞結果について

12. 第12回全国和牛能力共進会入賞結果について
13. 第2・四半期生乳生産出荷状況について
14. 固定資産の取得について
15. 農作業受委託事業に係る粗飼料の収穫作業結果について

議案第1号

令和4年度畑作・酪農畜産生産資材等価格高騰に係る緊急支援対策の実施について

議案第2号

自動車運行管理規程の一部変更について

議案第3号

令和4年度生乳生産基盤維持乳質改善事業要綱の制定について

議案第4号

固定資産の取得について

議案第5号

固定資産の処分について

議案第6号

固定資産の処分について

第10回理事会

令和4年11月25日

報告事項

1. 内部監査報告について
2. 組合員の脱退について
3. 令和4年度仮決算について
4. 関連会社の財務状況について
5. 大豆収穫状況について
6. 令和4年度種子馬鈴薯入庫状況について

議案第1号

役員賠償責任保険契約の締結について

議案第2号

定款第52条第3項の規程に基づく契約について

協議事項

1. J A 上士幌町のSDGsの取り組みについて
2. 令和4年度融資方針及び営農計画書協議方針について
3. 令和4年度農地評価額について



知っておきたいマナー集

お歳暮とお年賀のマナー

お歳暮はその名の通り「年の暮れ」を意味する言葉です。「歳暮の礼」といって、新年に先祖へのお供えを届け合ったことが始まりとされています。目下の者から目上の方へ一年の感謝の気持ちを贈る現在の形になったのは、江戸時代以降とされています。

年々、百貨店などのお歳暮商戦のスタートが早くなってきましたね。12月中旬を目安に、正月事始めといわれる12月13日からクリスマス前までに届くようにしましょう。

日頃お世話になっている方への感謝の気持ちですから、本来はお歳暮を贈ったらお中元も贈ります。どちらか一方でしたらお歳暮が良いでしょう。

贈る品は、食べ物でしたらクリスマスやお正月に皆さんで召し上がっていただけのもの、お正月休みまで賞味期限があるもの、を考慮しましょう。



しょう。

年末年始に家を空けるご家庭もあるかと思いますが、お相手の好みや予定、地域の風習によって、贈る品や時期については臨機応変な心遣いが必要です。

直接お届けしない場合は、贈った旨を伝える送り状を出します。お相手との間柄によって手紙、はがき、電話、メール、SNSにするのかを判断しましょう。

一方で、お年賀は新年のごあいさつに伺って直接お渡しすることが多いかと思いますが、元旦から松の内までに贈るものとされています。地方によって松の内を1月7日までとする場合と、1月15日までとする場合があります。新年のごあいさつですから、年末に繰り上げて渡したり、松の内を過ぎて贈ったりすることはありません。

お歳暮やお年賀の水引は何度あっても良いことから、ほどけて結び直せる紅白のちよう結びが基本です。熨斗(のし)も付けます。お歳暮の時期に遅れたら「お年賀」に、お年賀の時期に遅れたら「寒中御伺」に表書きを変えて、感謝の気持ちをお贈りしましょう。

和文文化講師 ● 澤井ひかる



上土幌町農協組合員のみなさんへ

令和4年度 巡回ドックの最終案内




ご自身の健康管理のため、組合員様とご家族皆様へ巡回ドックのご案内をいたします。
まだ健診を受けていない方は、1月の巡回ドックをぜひご利用ください！

<ふれあいプラザで実施する集団健診>

日時	健診名	対象者	料金	健診内容
1月23日(月) ～27日(金)	特定健診	40～74歳の町国民健康保険加入者	0円	身体測定 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図検査 眼底検査 医師の診察
	基本健診	18～39歳の者		
	後期健診	後期高齢者医療保険加入者		

★国保以外の健康保険加入者で40～74歳の場合、令和4年度特定健診受診券をお持ちの方等も受診することができますが、金額や検査内容は加入している健康保険にお問い合わせください

<上記の健診と一緒に受けられるがん検診>

検診名	料金	検診内容
大腸がん検診 	500円	便検査
肺がん検診 	400円	胸部レントゲン検査
胃がん検診 	1,400円	胃バリウム検査

この他にも前立腺がんや骨粗しょう症等の検診も行っておりますので、受診希望の方はお問い合わせください！



◆料金 上記の検診料金の半分の農協が助成します

QRコードからも申込みます！



健診専用

◆申込 上土幌町農協管理課 ⇒ 締切日12月15日(木) または、
役場保健福祉課健康増進担当(2-4128) ⇒ 締切日12月23日(金)

<子宮頸がん検診・乳がん検診>も受けましょう！ ～2年に1回の受診となります～

《日時・場所》 2月6日(月)・ふれあいプラザ

《対象者》 子宮頸がん検診(20歳以上)、乳がん検診(40歳以上)
※前年度、受診していない方

《料金》 子宮頸がん検診 20～40歳 0円、41歳以上 1,600円
乳がん検診 40～70歳 0円、71歳以上 1,700円

《申込》 役場保健福祉課健康増進担当(電話2-4128)までお申込みください。

QRコードからも申込みます！



女性がん検診専用



農協組合員さんの R3 年度の健診結果は…

「**血糖値や肥満の項目がやや高め！！**」



		基準値を超えている人の割合	
		農協組合員	市街地区在住者
血糖値(HbA1c)		78.6%	71.1%
	BMI	36.5%	34.2%
肥満	腹囲	43.8%	36.6%

血糖が高い人の割合も肥満の人の割合も市街地より高い！

数値が基準値を超えていると何が起こるの？

⇒高血糖状態や内臓脂肪の蓄積により血管がむしばまれ、**動脈硬化が加速する**

動脈硬化

心筋梗塞・脳梗塞・腎不全

発症

高血糖や肥満を改善・予防するためには…

「**栄養バランスの良いお食事が大切です！！**」



忙しい時でも手軽に利用できる、コンビニの調理済み食品で**栄養バランスの良いお食事**の選び方をご紹介します。

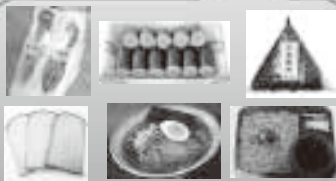


お弁当・惣菜などで「**バランスのとれた食事**」を実践してみよう！！

主食・主菜・副菜をそろえよう！

プラス

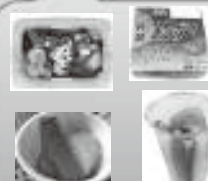
ごはん・パン・麺類といったエネルギー源となる炭水化物主体の**主食**



魚・肉・卵・大豆・大豆製品のような体を作るたんぱく質主体の**主菜**（メインのおかず）



体の調子をよくする野菜・きのこ・海草がメインの**副菜**（小鉢に入りそうな物）



水溶性のビタミンが摂れ、体を温める**汁物**（ミネストローネや豚汁のように具だくさんの物を1日1杯まで）



【**選びがちなメニュー**】



主食：おにぎり



主食：カップラーメン

ここが問題

- * おにぎりやラーメンという炭水化物（主食）が多い食品が重なっています。
- * 野菜（副菜）が不足しています。

【**目指す食事の組み合わせ方**】



主菜：冷奴



副菜：ひじき煮



主食：おにぎり



副菜：サラダ

ポイント

- * おにぎりのみにして炭水化物（主食）を減らします。
- * ひじき煮やサラダで野菜（副菜）、冷奴でたんぱく質（主菜）を補います。

◎家庭でのお食事、**主食・主菜・副菜をそろえましょう**

ふれあいプラザでは栄養相談を行っております。
生活習慣を見直したい等のご希望がある方は、是非ご活用ください！

農畜産物消費拡大運動 道の駅 販売イベント



十月十五・十六日の二日間、「道の駅かみしほろ」にて、屋外テントを張り、農畜産物の消費拡大運動を行った。

特産品の「十勝ナイタイ和牛」や地元産のあんこを使ったピザ、あんこ・ごぼう味の「ほろんまん」・豆缶・あんこ・羊羹などを販売。

その場で、ナイタイ和牛やあんこ、チーズなどをピザ生地にとッピングし石窯で焼き上げ出来たてを提供した。

購入者には特選北海道牛乳のプレゼントを行い、訪れた観光客や家族連れに喜ばれた。

今後もしも上士幌町の特産品を使ってPRを行い、上士幌の農畜産物の消費拡大に繋がっていききたい。



石窯焼き上げピザ



道の駅かみしほろにて



法被姿で防火宣言 上士幌幼年消防クラブ 火災予防啓発



上士幌幼年消防クラブでは、秋の火災予防運動期間（10月15日から10月31日まで）に、町内各事業所に火災予防ポスターを制作し配布を行っている。

J A 上士幌町にも10月7日、クラブ員約20名がお揃いの法被姿で訪問した。元気よく防火・防災に取り組む事を宣言し秋の火災予防を促した。



クラブ員代表者による防火ポスターの配布



みんなで防火宣言

酪農情報

令和 4 年度〇月 生乳受託販売実績数量

	受託戸数	受託乳量	前年比	乳代①	単価	補給金②	合計①+②	単価	前年との差
上士幌町	戸 60	kg 10,909,653.0	% 95.6	円 1,049,603,654	円 96.21	円 88,177,272	円 1,137,780,926	円 104.29	0.35
十勝管内計	1,040	107,962,305.5	98.1	10,447,628,822	96.77	872,605,363	11,320,234,185	104.85	0.54
全道計	4,776	334,158,624.6	97.2	32,496,294,233	97.25	2,700,837,083	35,197,131,316	105.33	0.64

	累計受託乳量	前年比	単価	前年との差	乳脂肪率%	無脂固形率%
上士幌町	kg 78,360,934.0	% 96.9	円 102.8	0.3	3.863	8.825
十勝管内計	783,321,867.0	101.0	103.1	0.4	3.914	8.798
全道計	2,421,113,842.9	100.0	103.5	0.6	3.985	8.781

家畜市場成績

令和 4 年度 ホクレン十勝地区乳牛市場消流情報（4.11.24）

		初妊牛小計	経産牛小計	合計	上士幌町
出場頭数	頭	760	140	904	54
成立頭数	頭	630	128	760	53
売買比率	%	82.9	91.4	84.1	98.1
売買金額	円	304,890,300	32,626,000	338,096,000	25,742,200
最高金額	円	1,282,600	693,000	1,282,600	895,400
最低金額	円	37,400	35,200	35,200	165,000
平均金額	円	483,953	254,891	444,863	485,702

令和 4 年度 ホクレン十勝肉牛市場消流情報（4.11.11）

		黒毛和種・メス	黒毛和種・去	乳用交雑・メス	乳用交雑・去
出場頭数	頭	432	575	1,340	1,046
成立頭数	頭	396	533	1,274	1,014
売買比率	%	91.7	92.7	95.1	96.9
売買金額	円	224,132,700	370,134,600	406,607,300	401,145,800
最高金額	円	838,200	1,045,000	504,900	544,500
最低金額	円	105,600	143,000	154,000	198,000
平均金額	円	565,992	694,436	319,158	395,607

秋の収穫

作業風景



長芋収穫



てん菜収穫



ごぼう選果



薬草茎切作業



豆選果



大豆収穫



ラジコンヘリコプター秋播き小麦雪腐病防除作業



ドローン秋播き小麦雪腐病防除作業

JA グループ通信



各団体の詳しい取り組み内容については、
WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆HTB まつりにて JA カレーガチャを開催！

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。

ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモニ農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりしました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)

今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

JA北海道信連



◆親子で学ぼう!あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおにぎりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子

JA共済連北海道



◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



ホクレン



◆UHB テレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



JA北海道厚生連



◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter (@kouseihosp_ns) でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。



令和4年度 年末年始の業務体制

	12.29	12.30	12.31	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5		備考
	木	金	土	日	月	火	水		木	
事務所	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
信用・共済窓口	9:00 ～16:00	9:00 ～15:00	○	○	○	○	9:00 ～16:00	9:00 ～16:00		4日から平常営業
事務所内 A T M	8:00 ～19:00	8:00 ～19:00	○	○	○	○	8:00 ～19:00	8:00 ～19:00		4日から平常営業
生産資材店舗	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
生産資材倉庫	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
農産センター	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
セル フ ス タ ン ド	7:00 ～19:00	7:00 ～19:00	7:00 ～16:00	○	8:30 ～15:00	8:30 ～15:00	8:30 ～17:00	8:30 ～17:00		6日から平常営業
洗車場	8:00 ～18:00	8:00 ～18:00	8:00 ～15:00	○	9:00 ～14:00	9:00 ～14:00	9:00 ～16:00	9:00 ～16:00		6日から平常営業
集乳所	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
TMRセンター	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
ナイター イタ 高 原 牧 場	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休

※○は休業日